

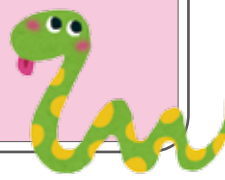


第 116 号

発行日 令和7年3月15日
発行相模台地区
社会福祉協議会
南区相模台1丁目13番5号
相模台まちづくりセンター内
☎042-705-1422

地区人口 44,932人
世帯数 23,424世帯 (R7.1.1現在)
市の人口総数 723,407人

みんなのひと 相模台



第25回 相模台福祉まつり



令和6年10月19日(土)福祉まつりを開催しました。たくさんの皆様が来所してくださいました。ありがとうございました!



令和6年度 理事視察研修へ

11月19日(火)
かながわ赤十字情報プラザへ
行きました。

【赤十字社に行ってみた感想】

- ・災害時の援助等が第一の目的だということが印象的だった
- ・赤十字のマークがスイス国旗を倣っていることを知った。また、赤十字の旗が世界中に周知されていることに驚いた。
- ・募金の使い方がわからなかったが、ここにきて学べた。



募金は以下の事業で使っています。

- 【災害・防災】
 - ・災害時救護訓練
 - ・救援物資倉庫の維持管理
 - ・救護資材の整備等・救急法等講習
 - ・災害救護に必要な医療機器の整備 等
- 【奉仕活動】
 - ・奉仕団活動
 - ・青少年活動等
- 【その他】
 - ・国際開発協力事業

募金活動

いつもご協力
ありがとうございます。



ガールスカウトさんの街頭募金

- 5月～ 日赤会員増強運動
- 5月～ 市社協賛助会員募集運動
- 10月～ 赤い羽根共同募金

サポートセンター

今年度、サポートセンター楽らくは毎週月・水・金の10時～14時で開所しました。今後も、散歩の休憩、トイレ休憩、お友だちとの待ち合わせなどにもお使いください。また9月から楽らく麻溝台（第2地域包括支援センター内）を毎週火曜日同時刻で開所いたしました。以下の事業もしています。どうぞご参加ください。

●ちょっとしたお困りごとのサポート

ゴミ出しや高いところのカーテンの取り外しなどに対応しました。

●サポーター交流会

徐々に開催された交流会で、乗合タクシーの情報などを共有しました。



●交流サロン

一日に10人～15人の方がお茶を飲みながらおしゃべりを楽しみました。

●歌声サロン

懐かしい歌をみんなで楽しく歌いました。歌うことは喉を鍛えられます。誤嚥予防でもあります。

令和6年度

理事視察研修（11月）

横浜にある「かながわ赤十字情報プラザ」へ行きました。詳細は1面をご覧ください。

福祉講座（9月、2月）

9月21日（土）「知っておこう。成年後見制度」を開催しました。詳細は4面をご覧ください。

また、2月1日（土）、講師に城直美氏を迎え、「今日からはじめてみませんか？～脳いきいき生活を目指して～」を開催しました。次号、記事にいたしますので、お楽しみに。

総務企画部会

児童・障がい者に関する活動

1.知ってる？ふくしようぐ（福祉用具）

11月24日（日）に福祉用具の紹介と体験の講座を開催しました。始めに短編アニメ『きまりのない国』を上映。その後、手動や電動の車椅子に乗ったり、ベッドから椅子などへの移動支援機器、箸・スプーンなどの食器も実際に使ってみました。

- ・こういうほじょ具があることで、楽になる人がいること。（が分かった）
- ・電どうくるまいますの、そうさせいがおもしろい！
- ・近くで体験できる機会があり、よかったです。（保護者）



バンビ内にある用具

2.施設訪問

8月5日（月）、児童発達支援センター『ばんび』を訪問しました。施設内の見学に加え、子どもたちが元気に遊んだり、食事をしている様子もいただきました。



3.子育て情報誌「びよびよ」の発行

相模台公民館・相模台こどもセンター・御園児童館・子育てサロン『わくわく南台』の情報をお知らせしています。また、「児童発達支援センター『ばんび』の訪問記、福祉まつりでの子供コーナー（射的）の様子も掲載しました。



児童・障がい者部会

相模台地区社会福祉協議会の活動についてのお問い合わせは、

楽らく

●子どもの居場所・学習支援 楽らくキッズ

今、12人の子どもたちが集っています。13人のスタッフが1対1で勉強の手助けや工作、読み聞かせをしています。工作で作った3Dアートボックスを皆で作りました。右の写真は2年生の子どもさんが色を塗って作りました。



●楽らくキッチン

「仕事と子育てにお忙しい親御さんに、たまには食事作りを休んで私達のお弁当をどうぞ」という子育て支援の取り組みとして、お弁当を毎月54食程作ってお渡ししました。

●講演会「リンパって何？」の開催

9月28日（土）、講師に内科医師の牛山元美先生（さがみ生協眼科・内科）をお招きし開催した講演会には100名以上の参加がありました。

参加者からは、

- ・自分の身体を大切にしようと思った
 - ・身体を見直す良い機会をいただいた
- などの感想が寄せられました。



ロードフェスタへの出店（10月）

10月6日（日）

「喫茶」「地域作業所の物販」を出店しました。多くの方のご来場があり、賑わいました。ご来場くださった皆様ありがとうございました。売上は地域福祉の活動を支える資金となります。



事業報告

高齢者に関する活動

1. サロン支援活動

- ・地区内のいきいきサロン13団体へ運営費補助
- ・8月と2月にサロン協力者研修会開催



8月の研修会では「kao 身だしなみ&メイク講座」を行いました。

講師：花王グループカスタマ-マーケティング(株) 加藤 恵実氏 / 林 和世氏

3. ひとり暮らし高齢者お手紙訪問

75歳以上のひとり暮らしの方（希望者）を対象に、年賀状、春の挨拶状、暑中見舞いをお出ししています。令和7年の年賀状も、昨年同様、相模台小学校3年生の皆さんが描いてくださいました！

2. ラジオ体操

相模台公園で毎週火曜日8時から実施



高齢者福祉部会

その他福祉関係団体助成

- 民生委員児童委員協議会
- 老人クラブ連合会
- 青少年健全育成協議会
- 相和婦人会
- 保護司会

以上5団体の活動に対して助成しています



バンビ』子供たちも見せて



福祉講座

「知っておこう。成年後見制度」
～安心して生活ができるように～

令和6年9月22日(土) 相模台公民館において相模原市社会福祉協議会のさがみはら成年後見・あんしんセンターの職員による講座が開催されました。

成年後見人制度とは、認知症や障害などにより自身で重要な事柄を判断することが難しい方が安心して生活できるように支援する制度のことです。後見人とは、本人の意思を尊重し、本人の心身の状態や生活状況を考慮して、主に身上保護や財産管理を行う人のこと



です。身上保護とは、福祉、福祉サービス利用や施設入所手続きを行い、財産管理は預貯金管理、年金受給、不動産売買契約、税金や保険料の支払いを行うことです。これらは依頼人と後見人の互いが事前に行った契約の範囲以内で支援が行われるという内容でした。

受講者は熱心に聞き、メモを取る姿が印象的であり、積極的な質問もありました。(Q:質問、A:回答)

Q:後見人にはどのような人がなるのか
A:身近に支援できる人が弁護士等の専門家に依頼する

Q:後見人の業務はいつ終わるのか
A:基本的には後見人本人が亡くなるまで続きます

Q:後見人を取り下げることでできるのか
A:家庭裁判所の許可なくして取り下げられない

受講者からは、まだ理解できない部分もあるが、これからの生活設計の参考になったので、このような講座は高齢者にとってもありがたいとの感想が聞かれました。最後に、相模原市成年後見制度利用支援事業とさがみはら成年後見・あんしんセンターの紹介があり、どんなことでも相談してほしいとのことでした。(長澤敬子)

光が丘地区
社会福祉協議会との交流会

9月11日(水)、中央区の光が丘地区社会福祉協議会との視察研修会を行いました。

光が丘地区からは、飯沼会長、社協の役員等19名の方が、相模台地区から中村会長、役員、「楽らく」の原センター長、スタッフの7名が相模台公民館、「コミュニティ室」に集い、「サポートセンター」楽らくの取り組みについて研修会を行いました。原センター長が「楽らく」の概要、開所までの取り組み、開所から現状の取り組み状況を資料説明し、その後、質疑応答になり、様々な意見交換をしました。研修会を閉会し、全員で「楽らく」を見学して、集合記念写真を撮り、研修会は無事に終了しました。他地区の活動が大変参考になることがあり、視察研修会が両地区の今後の発展に役立つことを願います。(会長 中村明)



相模台地区敬老事業

【地域貢献活動表彰】

おめでとうございます!

団体：いきいき百歳体操

代表 角尾 彰央 氏

個人：平野 公子 氏 鈴木千恵子 氏

小美野仁子 氏 池田 隆男 氏

【祝品配布】

今年は80歳以上の皆様に、こちらのアルファ化米・オープナーを配布いたしました!



地区社協へのご寄付 ありがとうございます

イトーヨーカドー労働組合相模原支部 様 7,000円
SOMPO ケアラヴィーレ小田急相模原 様 13,250円

賛助会員募集実績報告

ご協力ありがとうございました!

今年度募集いたしました相模原市社協賛助

会費のうち、812,374円(50%)は

相模台地区社協に配分され、様々な地域福祉事業に活用させて頂きました。

